

平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年8月2日

上場会社名 永大産業株式会社 上場取引所 東証二部
 コード番号 7822 URL <http://www.eidai.com>
 代表者 (役職氏名) 代表取締役執行役員社長 吉川 康長
 問合せ先責任者 (役職氏名) 取締役常務執行役員
 経営企画部長 金丸 収蔵 TEL (06) 6684-3062

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	19,064	1.1	△160	—	△108	—	△129	—
19年3月期第1四半期	18,863	—	107	—	130	—	124	—
19年3月期	81,562	—	1,201	—	1,323	—	1,152	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	△2	78	—	—
19年3月期第1四半期	2	97	—	—
19年3月期	27	20	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年3月期第1四半期	72,771		42,824		58.3		913	17
19年3月期第1四半期	67,924		40,179		58.6		948	31
19年3月期	75,712		43,416		56.9		925	88

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金(円)				
	第1四半期末	中間期末	第3四半期末	期末	年間
19年3月期	—	—	—	10.00	10.00
20年3月期	—	—	—	—	—
20年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

3. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	40,100	2.1	180	△36.9	270	△24.9	150	△40.9	3	23
通期	83,500	2.4	1,650	37.3	1,800	36.0	1,600	38.9	34	41

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(参考) 個別業績の概況

1. 平成20年3月期第1四半期の個別業績（平成19年4月1日～平成19年6月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	17,952	1.2	△79	－	△30	－	△44	－
19年3月期第1四半期	17,748	－	149	－	167	－	151	－
19年3月期	77,040	－	1,215	－	1,232	－	1,138	－

	1株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭
20年3月期第1四半期	△0	97
19年3月期第1四半期	3	61
19年3月期	26	88

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年3月期第1四半期	69,943	42,656	61.0	917	47
19年3月期第1四半期	65,127	40,059	61.5	953	79
19年3月期	72,934	43,192	59.2	929	00

2. 平成20年3月期の個別業績予想

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	37,920	2.2	370	17.2	440	30.0	340	25.8	7	31
通期	78,800	2.3	1,700	39.8	1,800	46.0	1,700	49.3	36	56

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料で記述されている業績予想は、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。よって、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件等に関する事項については、「3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報」、または本日平成19年8月2日公表の「中間期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成19年4月～平成19年6月)は、新設住宅着工戸数に陰りが見え始め、前年同期対比の着工戸数が減少に転じました。特に5月の新設住宅着工は、持家、貸家、分譲住宅ともに減少したため、全体では前年同月比で10.7%の減少となるなど、厳しい環境となりました。さらに、需要低迷に伴い企業間競争がますます激化するなか、原油価格の高騰による接着剤等の諸資材価格の上昇によりコストアップとなりました。特にフロア基材である南洋材合板の価格は、昨年後半のピーク時と比べるとやや落ち着きを取り戻したものの、依然として高い水準で推移し、収益を大きく圧迫する要因となりました。

このような環境のもと、当社グループは引き続き中核製品である「ビーチシリーズ」製品の品揃えと販売体制の拡充をはかりました。また、持続可能な森林管理が行われているPEFC認証を受けたタスマニア産ユーカリを使った、業界初のPEFC-COC認証フローリングである「エコメッセージフロア」を全国発売しました。これは基材の脱ラワン化と適正なコストで安定供給を可能にする次世代のフロアであり、南洋材合板への依存から脱却をはかる第一歩と位置づけております。

販売面においては、価格の引き上げと拡販に努めましたが、販売競争の激化などから売上高は伸び悩みました。損益面では、依然として続くフロア基材及び諸資材の高騰によるコストアップと販売価格引き上げの遅延が影響し、また、海外子会社の収益悪化がグループの収益を圧迫しました。

これらの結果、当第1四半期は売上高19,064百万円、営業損失160百万円、経常損失108百万円、四半期純損失129百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の財政状態は、総資産は72,771百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,941百万円の減少、負債は29,946百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,350百万円減少、純資産は42,824百万円となり、前連結会計年度末に比べ591百万円の減少となりました。

総資産の減少は主に、現金及び預金の減少、受取手形及び売掛金の減少などによるものであります。負債の減少の主なものは、支払手形及び買掛金の減少などであり、純資産の減少の主なものは、利益剰余金の減少などであり、ます。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は原材料価格の高騰によるコストアップと販売競争の激化により、売上高では計画をほぼ達成できたものの、利益面では予想を下回る厳しい結果となりました。今後の見通しにつきましても、新設住宅着工戸数減少の大幅な回復は見込めず、販売競争は一層激しさを増すものと思われま。

こうした状況の中で当社グループでは、販売価格の引き上げとコストダウンに努めて収益体制の建て直しをはかるとともに、営業拠点の整備と強化による販売体制の拡充等により、売上高の確保をはかってまいります。

当社グループの中間期の連結及び個別の業績予想につきましては、当第1四半期の業績及び海外子会社の収益見通しを勘案し、平成19年5月14日に公表した中間期の業績予想の達成は難しいと判断したため、業績予想を下方修正いたします。

なお、通期の連結及び個別の業績予想につきましては、現時点では平成19年5月14日に公表した業績予想を変更しておりません。下期の事業環境や収益見通し等を見極め、業績予想に修正の必要があれば速やかに修正の通期業績予想を開示いたします。

平成19年5月14日に発表しました中間期の連結業績予想との差異は以下の通りです。

平成20年3月期 連結中間業績予想数値の修正 (平成19年4月1日～平成19年9月30日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	中間純利益 (百万円)
前回発表予想 (A)	40,100	420	475	395
今回修正予想 (B)	40,100	180	270	150
増減額 (B - A)	-	△240	△205	△245
増減率 (%)	-	△57.1	△43.2	△62.0
前中間期実績	39,261	285	359	253

平成20年3月期 個別中間業績予想数値の修正 (平成19年4月1日～平成19年9月30日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	中間純利益 (百万円)
前回発表予想 (A)	37,920	510	555	500
今回修正予想 (B)	37,920	370	440	340
増減額 (B - A)	-	△140	△115	△160
増減率 (%)	-	△27.5	△20.7	△32.0
前中間期実績	37,118	315	338	270

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用
法人税等の計上基準は、簡便的な方法を採用しております。
その他影響額が僅少なものについても、簡便的な方法を採用しております。
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

科目	当第1四半期 (平成19年6月30日)	前連結会計年度 (平成19年3月31日)	増減		前年第1四半期 (平成18年6月30日)
	金額(百万円)	金額(百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額(百万円)
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	8,056	10,150	△2,093	△20.6	11,166
2. 受取手形及び売掛金	25,601	27,061	△1,460	△5.4	24,172
3. 有価証券	998	999	△1	△0.1	999
4. たな卸資産	12,804	12,554	249	2.0	7,232
5. 繰延税金資産	358	339	18	5.5	379
6. 未収金	1,868	1,858	10	0.6	1,578
7. その他	674	549	125	22.8	582
貸倒引当金	△2	△2	—	—	△2
流動資産合計	50,360	53,511	△3,151	△5.9	46,108
II 固定資産					
1. 有形固定資産	11,204	11,073	131	1.2	11,337
2. 無形固定資産	1,243	1,247	△3	△0.3	607
3. 投資その他の資産	9,980	9,897	82	0.8	9,902
貸倒引当金	△32	△32	—	—	△31
固定資産合計	22,396	22,185	210	1.0	21,815
III 繰延資産					
1. 株式交付費	14	16	△1	△8.8	—
繰延資産合計	14	16	△1	△8.8	—
資産合計	72,771	75,712	△2,941	△3.9	67,924

科目	当第1四半期 (平成19年6月30日)	前連結会計年度 (平成19年3月31日)	増減		前年第1四半期 (平成18年6月30日)
	金額(百万円)	金額(百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額(百万円)
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	20,847	23,897	△3,049	△12.8	18,403
2. 短期借入金	568	562	6	1.1	437
3. 未払金	420	406	14	3.6	312
4. 未払費用	782	670	111	16.6	825
5. 未払法人税等	47	104	△57	△54.9	27
6. 未払消費税等	123	118	4	3.8	178
7. 役員賞与引当金	—	15	△15	—	—
8. 賞与引当金	1,080	663	417	62.9	1,126
9. 設備関係支払手形	288	97	190	196.1	191
10. その他	464	370	94	25.4	497
流動負債合計	24,622	26,905	△2,282	△8.5	21,999
II 固定負債					
1. 退職給付引当金	4,251	4,304	△53	△1.2	4,507
2. 長期借入金	—	—	—	—	133
3. 預り保証金	330	347	△16	△4.8	371
4. 役員退職慰労引当金	207	197	9	5.0	168
5. 負ののれん	534	541	△7	△1.3	563
固定負債合計	5,323	5,391	△67	△1.3	5,744
負債合計	29,946	32,296	△2,350	△7.3	27,744
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	3,285	3,285	—	—	2,200
2. 資本剰余金	1,816	1,816	—	—	730
3. 利益剰余金	37,637	38,231	△594	△1.6	37,194
株主資本合計	42,738	43,332	△594	△1.4	40,125
II 評価・換算差額等	△281	△284	3	△1.2	△296
III 少数株主持分	367	368	△0	△0.1	350
純資産合計	42,824	43,416	△591	△1.4	40,179
負債・純資産合計	72,771	75,712	△2,941	△3.9	67,924

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	当第1四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)	前年第1四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)	増減		前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
	金額(百万円)	金額(百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額(百万円)
I 売上高	19,064	18,863	201	1.1	81,562
II 売上原価	15,020	14,516	504	3.5	62,962
売上総利益	4,043	4,346	△302	△7.0	18,599
III 販売費及び 一般管理費	4,204	4,238	△34	△0.8	17,397
営業利益	△160	107	△267	—	1,201
IV 営業外収益	137	110	26	24.4	504
V 営業外費用	85	87	△1	△1.7	382
経常利益	△108	130	△239	—	1,323
VI 特別利益	—	0	△0	—	22
VII 特別損失	2	8	△6	△73.3	48
税金等調整前四半期 (当期)純利益	△110	122	△233	—	1,298
法人税、住民税 及び事業税	32	12	20	170.0	72
法人税等調整額	△14	△10	△4	—	55
少数株主利益	1	△2	3	—	17
四半期(当期) 純利益	△129	124	△253	—	1,152

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第1四半期(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

	住宅資材事業 (百万円)	木質ボード事業 (百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	16,293	2,771	19,064	—	19,064
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4	4	(4)	—
計	16,293	2,776	19,069	(4)	16,064
営業費用	16,039	2,772	18,761	463	19,224
営業利益	254	53	307	(467)	(160)

前年第1四半期(自平成18年4月1日至平成18年6月30日)

	住宅資材事業 (百万円)	エンジニアリング ボード事業 (百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	16,294	2,568	18,863	—	18,863
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,294	2,568	18,863	—	18,863
営業費用	15,731	2,585	18,317	438	18,755
営業利益	562	(16)	545	(438)	107

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品

(1) 住宅資材事業……床材、室内ドア、階段セット、造作材、住宅用厨房機器等

(2) 木質ボード事業……素材パーティクルボード、化粧パーティクルボード、MDF(中質繊維板)等
(当期よりエンジニアリングボード事業から木質ボード事業へ名称を変更しております。)

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用

	当第1四半期 (百万円)	前年第1四半期 (百万円)	主な内容
消去又は全社に含めた配賦不能営業費用の金額	467	438	提出会社本社の管理部門に係る費用

[所在地別セグメント情報]

前年第1四半期(自平成18年4月1日至平成18年6月30日)及び当第1四半期(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。